

# ぼむ・ぼむ通信

No. 39

生協の組合員と日本ユニセフ協会を結ぶネットワーク通信「ぼむぼむ通信」は、生協組合員のボランティアグループで発行・編集をしています。生協のユニセフ活動に積極的にご活用ください。

## 1. ユニセフ ハンド・イン・ハンド活動報告（2007年12月）



### 各地で工夫をこらした募金活動

山形県生協連

活動は5地域8ヶ所で実施され、71名が参加しました。各地で工夫をこらした活動が繰り広げられ、過去最高の募金額16万6,624円が集約されました。

- 〈山形〉 生協共立社の他、保健生協や学校生協などから大勢が参加し、山形学院高校の吹奏楽部が賛美歌の演奏によってさらに活動を盛り上げました。
- 〈鶴岡〉 いつもの「鶴岡協同の家こぴあ」に加え、新たに「コープ千石」でも開催しました。活動日を映画「日本の青空」の上映に合わせたり、マドレーヌとコーヒーを販売したことによって大勢からの募金が集まりました。
- 〈酒田〉 昨年と同じく2店舗で実施され、特にお子さんや年配の方が積極的に募金してくれました。
- 〈新庄〉 2ヶ所で実施し、ステーション前では金曜市の賑わいの中、募金を訴えることができました。
- 〈西置賜〉 今年も映画上映会場に募金コーナーを出すことができ、500人近くの来場者が募金をしてくれました。





募金活動は、いわて生協中心に 33 会場、日本ユニセフ協会 岩手県支部主催で 5 会場で行われました。中学生、高校生、大学生 90 人がボランティア参加しました。盛岡中央コープでは、募金にご協力いただいた方に“手作り小物 青い鳥”、ユニセフ委員会では“エッグポプリ”をプレゼントしました。



▲ホットライン肴町で



▲イオン盛岡南ショッピングセンター

イオン盛岡ショッピングセンターにて、土淵中、盛岡女子高校の生徒他 18 名が呼びかけました。参加した学生さんからは、「募金活動の大変さがわかった。このお金で子どもたちがたくさん救えたら嬉しい。」「やりがいがあり、良い経験になった。」「私たちの活動が世界につながると思うと嬉しい。」などの感想が寄せられました。



▲小さいお子さんも募金に協力してくれました

▲ハンド・イン・ハンドに参加したみんなで  
「ハイポーズ」

## 温かい気持ちを感じました 秋田県生協

活動は秋田駅ぽっぽろーどで行われ、あいにくの雨模様の中でも 27 名が参加し、募金を呼びかけました。他団体の呼びかけもあり、短時間ながら温かい気持ちを感じることができました。



## ユニセフの活動を伝えて いばらきコープ

初めて県連といばらきコープが一緒に取り組みました。クリスマス前なのでサンタクロースの扮装をして楽しく行うことができました。15 人が参加し、若い方から年配の方、家族連れにまで広くユニセフの活動を伝えることができました。



県内 6 区の各コープ店舗で活動が行われ、思っていた以上の方が募金をしてくれました。募金をする人も、してくれた方も心あったかい一日でした。



雨にもかかわらず、多くの方からご協力をいただきました。



子どもたちも初めは恥ずかしがっていたが、次第に声が出るようになりました。



おつりを入れてくれる人がたくさんいました。



風船を子供に配って喜ばれ、募金につながりました。



## 心はポカポカに

## コープあいづ・ユニセフ平和委員会

当日は時々吹雪の悪天候にもかかわらず、昨年以上の募金が寄せられ、冷たい風が吹き込む寒いお店の入り口でも、あたたかい善意の心でポカポカとなりました。また、今回は桜の聖母の学生さん 1 名も参加し、合計 13 名で充実した活動となりました。



## 子どもたちが大活躍 コープえひめ

店舗委員会の毎年の行事として定着し、募金していただいた方に、ツリーにリボンを結んでもらう方法も定着しています。子どもたちが大活躍で、レシートと引き換えにくじ引きを行う所の横でしっかり呼びかけを行っていました。ステッカーやハーブの種をお渡しして喜ばれています。



## 手作りグッズで工夫

## みかわ市民生協

サークル「あおいくま」は今年で 3 回目となりました。組合員と多くの桜丘高校の高校生と短い間ながら多くの善意募金をいただくことができました。そして私たちもこの募金活動であたたかい気持ちを与えてもらえる経験をすることができました。環境・平和を伝える会も今年で 2 回目となる活動を行いました。参加者は手作りブローチをつけて楽しく活動し、手編みの帽子、ベスト、マフラーを 80 点ほど、糸代プラス 500 円（募金）で販売しました。



### 3. つどい

#### 手作り「ユニセフすごろく」完成！

いわて生協

岩手県国際交流協会主催のワンワールドフェスタ in 岩手が、2007年12月8日アイーナで開催され、実行委員会に参加した日本ユニセフ協会岩手県支部は、「ユニセフクリスマスフェスタ」でユニセフの活動とユニセフハンド・イン・ハンド募金を呼びかけました。

会場では、いわて生協ユニセフ委員会作成の「ユニセフすごろく」でユニセフの活動を楽しく学び、ピアニストシンガーニンファとゴスペルのミニコンサート、ゲスト出演のシンガポール中学生のブラスバンド演奏、会場内ではチャイのサービス、エッグボブリ作り、古切手のポランティア、ユニセフカード&グッズの頒布など、終日ユニセフに触れることができ、国際色豊かなフェスタとなりました。



▲ユニセフすごろく 水がめを持つお父さん



▲ミニコンサートでニンファさん



▲ 音楽交流のために来盛したシンガポール中学生とユニセフボランティアのみなさん。シンガポールで最優勝を受賞されているブラスバンド演奏、前日は盛岡市内中学校の合同演奏会に参加。



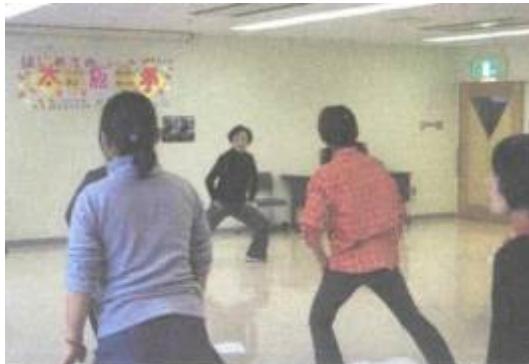
#### なのはな生協

生協まつり

生協まつりで設けたユニセフコーナーでは、ユニセフカード頒布の他、地雷や水がめの展示を行いました。親子連れの方々が興味深く足を止めて見てくださり、女の子たちも水がめの重さを体験していました。ユニセフカード頒布では、クリスマスカード約20種を60枚、ミニカード2枚組みを10組、合計売り上げ12,800円をユニセフへ送ることができました。ユニセフカードを通じて、一人でも多くの方が世界の子どもたちに关心を持ち、少しずつでも温かい助け合いの心が広がっていったらとても嬉しいです。この他、外国コインの募金もお願ひし、小さなお子様がお小遣いを貯めたものを持ってきてくださいたり、大勢の方々からご協力いただきました。



「ユニセフ募金・秋のつどい」はユニセフと生協を身近に感じて頂くことを目指しています。楽しい企画を立案から全てを地区理事とコープ委員が力を合わせて毎年開催しています。参加者を一般の方にも呼びかけるために、クイズや試食品を取り入れるなど、内容にも工夫がなされています。手作りの横断幕も毎年楽しみの一つです。会場内で実施するバザーの売り上げを全額募金したり、参加費の一部を募金にあてています。



▲はじめての太極拳企画



#### ▲ふくろうの小物作りに挑戦

#### 4. お年玉募金の呼びかけ

各生協、機関紙やチラシ等工夫をこらして、組合員さんへお知らせをしています。

さいたまコープ OCR-W でのお知らせ  
(注文用紙の上につけたお知らせ用紙)

こうち生協 機関紙

京都生協 機関紙

<h2>ユニセフお年玉募金にご協力ください 「子どもを守る」</h2>	<h2>ユニセフの 大切な活動</h2>
<p>日本（宮崎県国富小学校）</p> 	<p>アフガニスタン</p> 
<p>私たちも、昭和24年から30年（東京オリンピック）まで、ユニセフの支援をうけた子どもだったのです。</p>	<p>カブール郊外の小学校で女児貞節受け取る女子も過。2002年以来、小学校に通った女の子は約120万人。その数を増やすため、私も活動を続けています。</p>
<p>カンボジア</p> 	<p>ハイチ</p> 
<p>性差別で働く女性、経済的困難などために性差別で働くカンボジア女性の35%は16歳未満。彼女が持つているボスラなどを使って、働く子どもの力を育てる啓蒙活動をユニセフは行っています。</p>	<p>施設「虹の家」で食事休憩に掛けてロッカーステップを磨ぐ女の子。ユニセフはHIV陽子感染率を下げるため支援や約40万人いるといわれるハイチのユースによる召喚への支援などを行っています。</p>
<p>インド</p> 	<p>スーダン・ダルフル州</p> 
<p>はしかの手足癰瘍を受ける子ども。ユニセフは、350万人の子どもたちを対象に全額負担はしかしの手足癰瘍チャレンジを行っています。</p>	<p>南スーダン紛争により、これまでに200万人以上が座礁を失いました。2006年、駆逐船団を玄関のドアから、セイレーンと船頭の水没認定の手配などにより、70万人の入難民人士を救ひました。新しい船頭船も導入し、衛生知識の普及を進めています。</p>

宮崎県生協連 募金袋

TOPICS



#### ユニセフスタディツアー（フィリピン）

DVDを作成しています。

2007年11月に行われたフィリピンへのスタディツアーの様子を撮影したDVDを作成しています。詳細は、全国組合員活動速報等でご案内します。

※ 2008年4月下旬提供開始予定

#### ◆ 内容 ·

2006年2月に発生したレイテ島南部の地滑り被害に対する復興支援や、マニラ等での子どもの保護の活動やアドボカシー活動について紹介します。

◆お問い合わせ :

日本生協連 組合員活動部 担当：山内、下条

TEL 03-5778-8124 FAX 03-5778-8125

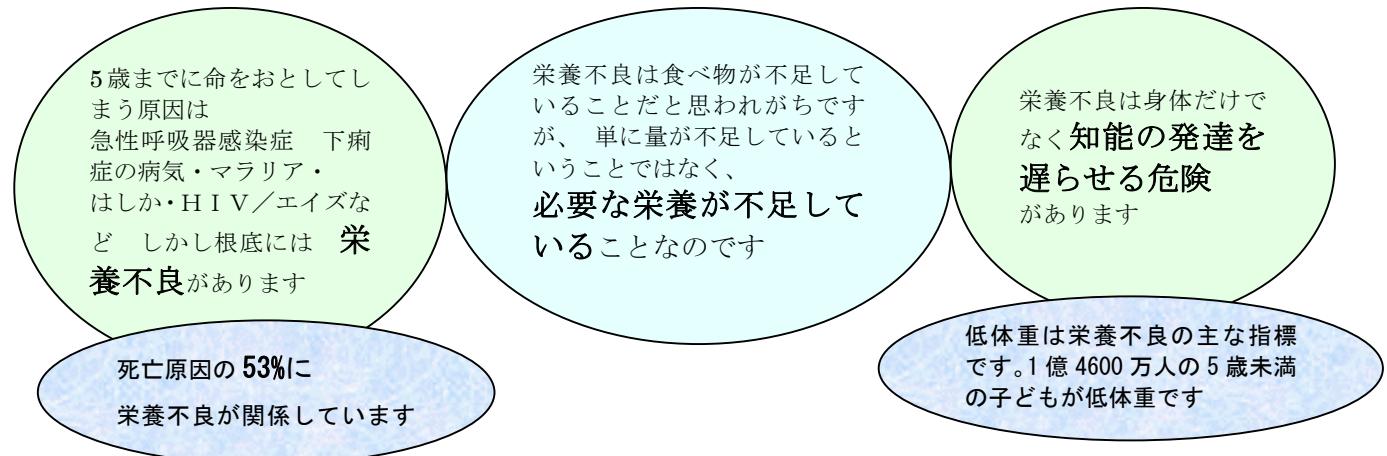
MAIL [kumikatsu@jccu.coop](mailto:kumikatsu@jccu.coop)

(レイアウト 尾澤結花)

# 知りたい？ 知っとこ。ユニセフ ~栄養編~

Q 2007年度ハンドインハンドのテーマは 子どもの未来は栄養が握っている。でした。

ユニセフの栄養に対する取り組みを おしえてください。



微量栄養素欠乏	ビタミンA	<b>ビタミンAカプセル・2円</b> 子どもに高単位ビタミンAのカプセルを年2回、飲ませるだけで多くのビタミンA欠乏症は防ぐことができます。ユニセフは、全国予防接種デーなどの機会を通じて子どもたちにビタミンAを補給します	
	ヨード	<b>ヨード添加塩</b> 近年ヨード欠乏症は、ユニセフや各国の努力によりヨードを添加した塩（ヨード添加塩）が広く普及はじめたことにより、減少に転じています。日々使う塩にヨードを添加することを義務化する国も増えています。微量栄養素欠乏のうち、解決に向かっている成功例のひとつです	
栄養を奪うのは せつかくとつた	下痢 感染症 寄生虫	<b>経口補水塩（ORS）・8円</b> 脱水症から守るために体に吸収されやすい水を作り飲ませる「経口補水療法」という治療法を広めています。この方法で作るスペシャルドリンクは普通の水に比べて25倍の早さで体に吸収されます。ユニセフでは溶かせばすぐ作れるORS（経口補水塩）と呼ばれるパッケージが使われています  虫下し・手洗い・トイレなどの衛生指導	
栄養補給	急性栄養不良として 治療用ナット	<b>プランピー・ナッツ・45円</b> <b>太る</b> という意味のPLUMPとピーナッツのナットをかけ合わせた名前 ピーナッツを原料に各種栄養素を配分、常温で保存でき、そのまま袋をちぎれば口で吸い出して食べることの出来る「栄養補助食品」、ほかの容器に移しかえて水で溶かす必要もなく、監視する人も必要ないので、「家」で処方することができます。（瀕死の状態になる前に）手を打つことが出来ます	
	母乳育児	ユニセフは、政府、地域社会、パートナーと連携して、新しく母親になる女性や家族に母乳育児がどれだけ子どもに大切か、どれほど大きな力を持っているかを伝え、実践してもらえるよう、努力を続けています。また、地域レベルで妊娠中や出産後のお母さんのケアや支援を続けることで、母乳育児を根付かせようとしています。	

母乳育児・離乳食やその後の食事の質が大切なこと、発育観察が大切なことをつたえること。  
また 文化・伝統・習慣・家族システムの難しさからくる母親自身の栄養不良も改善できるよう努めています。  
これらの栄養指導・健康指導をする保健指導員の育成にもユニセフは力を注いでいます。

★もちろん押し付けの行動変容は好ましくないけれど、地道な情報提供と話し合いに基づいてのいわゆる「情報を得た上で決断 Informed decision」の小さな積み重ねが、社会としての行動変容（ある意味新しい文化の創造）に繋がっていく。究極的にはユニセフの仕事のなかでもっとも重要な要素は、（ワクチンを買って与えることではなくて）こういう仕事ではないかと思っています（ミャンマー現地スタッフ錦織氏）

(山本直子)



## <栄養>

(文) 松本真弓  
(絵) 蛭沢素子

— 栄養不良の子ども達をなくそう —  
ユニセフは政府や他の機関と協力していろいろなプログラムを実施しています。また、保健員やボランティアなどの地域のスタッフを研修したり、一緒に母親達に栄養を探る大切さを伝えています。



### 3点セットの健診で栄養不良がわかる



### 料理教室

母親たちに健康的で高カロリー、高プロテインの食事の作り方を伝え、新しいレシピを自分たちの村に持ち帰って実践するように指導します。



### 学校菜園

色々な野菜の種を提供して育て方を伝えます。学校菜園は子ども達が作物の知識を得る良い場になります。

## ぽむぽむ広場

拡大版

ぽむぽむ通信編集委員より

日本ユニセフ協会と日本生協連の人事異動に伴い、編集委員が交替することになりました。

日本ユニセフ協会 林田 佳子 ⇒ 谷口 光 、 日本生協連 高井 秀一 ⇒ 下条 雄司

また、日本ユニセフ協会のインターンとして編集に関わっていた三上真梨紗も、インターン期間の終了に伴い、今号で編集委員を卒業することになりました。この場を借りてごあいさつさせていただきます。

「ぽむぽむ通信」では引き続き、生協のユニセフ活動の交流の場となるよう、充実した情報を届けていきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いします。



### 「楽しかった編集ミーティング」 林田 佳子

約5年間にわたり、ぽむぽむ通信の編集にたずさわりました。アイデア豊富でやさしい組合員編集ボランティアさんに助けられながら、毎号試行錯誤しながらの発行でした。どんな記事が必要とされているんだろう？どれくらい読まれているんだろう？いつもみんなでそんなことを考えながら編集会議をしています。生協とユニセフの通信誌として、是非これからも読者である生協のみなさまからの投稿やご意見、アドバイスをいただければと思います。私自身も編集を通じていろいろなことを学ばせていただきました。読者のみなさまと編集委員のみなさまに心よりお礼申し上げます。

### 「共に学んだ1年間」 高井 秀一

日本生協連からの事務局として、編集に関わらせていただきました。編集会議では、生協のユニセフ活動をどう紹介するか、ユニセフが「子どもの権利」を守るため、国への政策提言や教育に力を入れていることをどう伝えるか。などなど…、私自身も学びながら参加できました。読者、編集委員の皆様、本当にありがとうございました。

### 「ありがとうございました」 三上 真梨紗

38、39号と僅かながら記事の作成・編集に関わらせていただき、以前は知らなかった生協の活動や全国の皆様のユニセフへの熱心な取り組みに触れることができました。編集委員の皆様、ありがとうございました。

### 「よろしくお願いします」 谷口 光

不慣れで至らないこともありますかと思うのですが、少しでもユニセフ支援の輪が広がるよう、みなさまと一緒にユニセフ活動について考えて行きたいと思います。一生懸命頑張りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 「6月発行分が目標です」 下条 雄司

生協のユニセフ活動はすでに30年近い歴史があり、全国でさまざまな活動にとりくんでいます。ぽむぽむ通信の編集を通して、生協のユニセフ活動について学んでいきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。当面の目標は6月分を予定通りに発行することでしょうか…。

☆ぽむぽむ通信の通算39号をお届けします。全国のユニセフ協力活動の交流誌としての役割はもちろん、世界の国々や子どもたちの様子も積極的に紹介していきます。また、各地の活動の参考になるような取り組みのご案内も行っています。

☆全国の活動事例や、ぽむぽむ通信の感想・ご意見をぜひお寄せください。

☆次号は、6月15日発行です。お楽しみに！

ユニセフ\*コープネットワーク

ぽむ・ぽむ通信

No.39 2008年3月15日発行

編集 グループ ぽむ・ぽむ

スタッフ・編集／尾澤・谷杉・浜崎・福本・藤森・松本・山本  
林田・谷口・三上・下条・高井

イラスト／蛭沢

発行 日本生協連 組合員活動部

〒150-8913 東京都渋谷区渋谷3-29-8

コーププラザ 11F

TEL03-5778-8124 FAX03-5778-8125

ホームページ http://www.jccu.coop/